

29. 研修プログラムの名称及び概要

プログラム番号： 030438501病院施設番号： 030438 臨床研修病院の名称： 蒲郡市民病院臨床研修病院群番号： 0304385 臨床研修病院群名： 蒲郡市民病院臨床研修病院群

プログラム番号、病院施設番号及び臨床研修病院群番号は、既に取得されている場合に記入してください。

1. 研修プログラムの名称	蒲郡市民病院臨床研修プログラム			
2. 研修プログラムの特色	<p>蒲郡市および周辺をあわせた人口10～14万人を医療圏とし、地域の二次中核病院として、主に急性期医療を中心とした382床の総合病院である。救急医療はもとより、がん化学療法、体幹・頭部の定位的放射線治療、脳・心臓を中心としたintervention、めまい治療、内視鏡治療などにも力を入れ、市内はもとより、県外からも患者さんが紹介されている。救急症例が多いので初期研修にとっての症例を豊富に研修でき、地域に目を向けて地域医療に根ざしていただける医師を養成することができる。</p> <p>また、研修医の少ない中規模病院のメリットをいかし、研修医の希望する手技・手術などの予定が、各診療科から報告されると、どの診療科で研修していても、その週あるいはその日の研修に組み込まれる。診療科を超えた無駄のない臨機応変な研修が可能である。ローテートが変わっても、入院時に受け持った患者さんを退院するまで継続診療することもできる自由度の高いプログラムであり、検査や手術はやらせて覚える参加型研修をするなど、満足度を高めている。</p>			
3. 臨床研修の目標の概要	<p>医師の初期研修として患者さんを全人的に診ること及びプライマリ・ケアに対応できるようにすることであり、当院の基本理念「患者さんに対して最善の医療を行う」ことから次のことを研修目標とする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 医師としての人格の涵養 2. プライマリ・ケアの理解 3. 患者さんを全人的に診る 4. 生涯にわたって自己研鑽できる 			
4. 研修期間	(2) 年 (原則として、「2年」と記入してください。)			
備考	研修後そのまま専門研修に入り3年以上研修可能な病院は、その旨を記入してください。 3年目以降研修可能 (内科基幹施設)			
5. 臨床研修を行う分野	<p>研修分野ごとの病院又は施設 (研修分野ごとの研修期間)</p> <p>* 同一の研修分野について複数の病院又は施設で研修を行う場合には、適宜欄を分割してすべての病院又は施設の名称 (病院施設番号) を記入してください。</p> <p>* 研修期間は、研修分野ごとに週単位で記入してください。各研修分野におけるプログラムの詳細は備考欄に記入してください。</p> <p>* 選択科目については、その診療科を選択した場合の病院又は施設等を記入してください。</p>			
	病院施設番号	病院又は施設の名称	研修期間	内一般外来
必修科目・分野	030438 030413	蒲郡市民病院 名古屋市立大学病院	<u>24週</u>	<u>4週</u>

	救急部門	030438 030413	蒲郡市民病院 名古屋市立大学病院	<u>1 2 週</u>	
	地域医療	032815 056305 168101 191234 191235 191236 191237 191238	篠島診療所 日間賀島診療所 マイファミリークリニック蒲郡 カワイ外科 こんどうクリニック あおば内科クリニック すみれクリニック 蒲郡厚生館病院 いとう内科小児科 すずりん皮膚科クリニック かんだ整形外科リウマチ科 はたのクリニック	<u>4 週</u>	一般外来 <u>2 週</u> 在宅診療 <u>2 週</u>
	外科	030438 030413	蒲郡市民病院 名古屋市立大学病院	<u>4 週</u>	
	小児科	030438 030413	蒲郡市民病院 名古屋市立大学病院	<u>4 週</u>	<u>1 週</u>
	産婦人科	030438 030413	蒲郡市民病院 名古屋市立大学病院	<u>4 週</u>	
	精神科	030433 030413	豊川市民病院 名古屋市立大学病院	<u>4 週</u>	
	一般外来				
病院 で定 めた 必修 科目					
選択 科目	選択科目等	030438 030413 032420 030433 030810 032803	蒲郡市民病院 名古屋市立大学病院 愛知医科大学病院 豊川市民病院 豊川保健所 五井の里	<u>4 8 週</u>	

備考

- ① 研修期間は必修科目56週以上と選択科目の合計104週とする。
- ② 救急部門は、整形外科、麻酔科、脳外科で12週以上行う。(麻酔科は4週までとする)
- ③ 研修期間を通じて、月4回程度の救急日当直(副直)を、上級医・指導医のもとで行い、救急患者に対するプライマリ・ケア能力を養成する。
- ④ 1年目に将来専門としたい診療科での研修を12週以内で選択することもできる。
- ⑤ 基幹型臨床研修病院での研修期間は最低52週以上行う。
- ⑥ 臨床研修協力施設での研修期間は12週以内とする。
- ⑦ 選択科目は、蒲郡市民病院・豊川市民病院・名古屋市立大学病院・愛知医科大学病院・豊川保健所・介護老人保健施設五井の里で行う。選択科目は、不十分であった研修部分を修得するとともに、研修医が研修プログラムを選択し積極的に取り組むための科目で、選択科目の分野は、豊川市民病院の精神科・皮膚科、名古屋市立大学病院と愛知医科大学病院のすべての診療科、保健・医療行政、及び当院の内科・外科・整形外科・小児科・脳神経外科・産婦人科・麻酔科・皮膚科・耳鼻咽喉科・眼科・泌尿器科から研修医が自由に選択できる。選択科目の選択については、到達目標を達成できるよう指導していく。
- ⑧ 臨床研修病理検討会(CPC)は、蒲郡市民病院で行う。
- ⑨ 一般外来研修は内科24週・小児科4週・地域医療4週の期間、週1回程度の頻度で指導医とともに外来初診をし、一般外来4週分を研修する。
- ⑩ 選択科目及びその選択順は、研修医が随時、センター長に希望を伝える事ができる。センター長は支障がない限り、可及的に研修医の希望に添う。

